

稚内中央電線共同溝、稚内港電線共同溝（一般国道40号）

国道40号は、旭川市と稚内市を結ぶ幹線道路であり、「第1次緊急輸送道路」に指定されています。また、稚内中央地区は、北海道最北に位置する稚内市中心部の商業地域に位置するとともに、稚内駅、フェリーターミナルの交通結節点が隣接しており、国内外、離島（利尻島・礼文島）への交通アクセスの拠点となっています。

電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な通行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに良好な都市景観の形成や観光振興に向けたまちづくりを支援することを目的とした延長合計1,500mの事業です（稚内中央500m、稚内港1,000m）。



▲当該地域の沿道状況

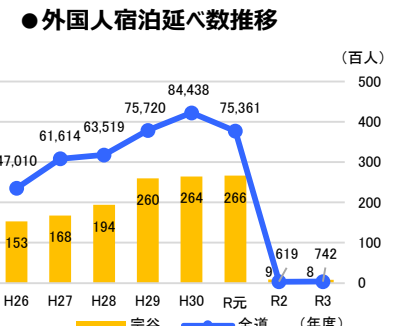
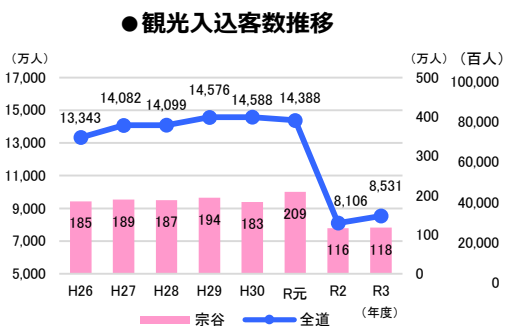
安全・安心な地域づくり

無電柱化整備により災害時の電柱倒壊等による交通障害を防ぎ、第1次緊急輸送道路における防災拠点（地域災害拠点・病院等）と交通結節点や観光拠点間の経路確保が期待される。

道北観光活性化

インバウンド観光の拡大に向けて、無電柱化による周辺環境整備により、安全で快適な歩行空間の確保や魅力ある都市景観の形成が期待される。

●当該地域（稚内市中心部）の状況



資料：北海道観光入込客数報告書より

重要港湾 稚内港の整備

稚内港は、北は宗谷海峡を隔てロシア連邦サハリン州、東はオホーツク海、西は日本海に面し、地域の基幹産業である水産業、酪農業及び観光業を支える物流拠点、「利尻島」「礼文島」と北海道を結ぶ唯一の海上交通拠点であり、離島住民の生活を支える上でも重要な役割を担っています。近年は、稚内港背後地域において風力発電施設の建設が進められ、風力発電資機材が稚内港を利用して大量に荷役されています。また、大型クルーズ船の受入のため、港湾機能の強化等を図っているところです。

宗谷地域はもとより北海道の開発・発展に不可欠な社会資本として港湾整備を進めます。



北防波堤ドーム

第1副港

末広ふ頭



北防波堤ドーム



老朽化状況(天井部)

■北海道遺産及び土木遺産に選定されている「北防波堤ドーム」の機能を保全するため、補修工事を進めます。

大型クルーズ船係留イメージ (末広ふ頭)



■大型クルーズ船の受入環境改善のため、岸壁の改良工事が行われました。(R2完了)

沖合底曳船係留状況 (第1副港)



■第1副港は、沖合底曳船の水産基地となっているが老朽化が著しく、狭い用地等による非効率な荷役状況となっているため、景観にも配慮した岸壁の改良整備を進めます。 52



老朽化状況



プロムナードの整備(対策後)

地方港湾の整備

【宗谷港】 物揚場の整備

係留施設不足による混雑状況



作業時の慢性的な滞船や多そう係留を解消し、効率的な水産活動を支えます。

【枝幸港】 防波堤の改良及び屋根付き岸壁の整備

荒天時の越流状況



施設全体の沈下や老朽化を解消し、安全な水産活動を支えます。

E U向けホタテの陸揚げ状況



農水産物の輸出を促進するため、屋根付き岸壁を整備し、水産活動を支えます。

【香深港】 防波堤の改良

岸壁前面擾乱状況



耐震強化岸壁（H26供用開始）前面の波を静め、礼文島の生活航路の安全・安心を確保します。

【杓形港】 岸壁の改良

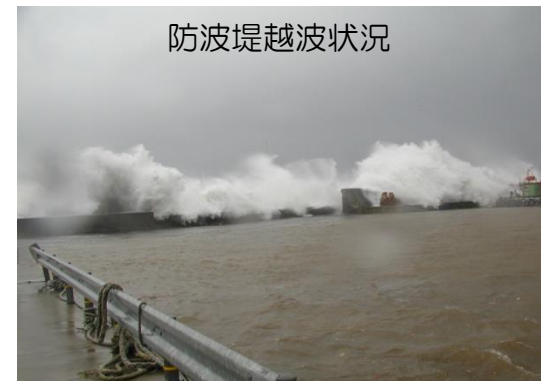
岸壁の老朽化状況



石材積み出し岸壁の老朽化を解消し、安全な荷役活動を支えます。

【鵜泊港（鬼脇地区）】 防波堤の改良

防波堤越波状況



船舶が安全に係留できるよう港内の波を静め、荷役等の漁業活動を支えます。

稚内空港の整備

【滑走路改良事業】

稚内空港の滑走路は、平成5～7年度に嵩上げ改良を実施し約20年が経過しており、多数のクラックや施工目地の開きを生じている。航空機安全運航のため、滑走路の舗装改良を実施。(R1完了)

○アスファルト劣化状況



As成分の劣化と面状クラック



クラックの進行



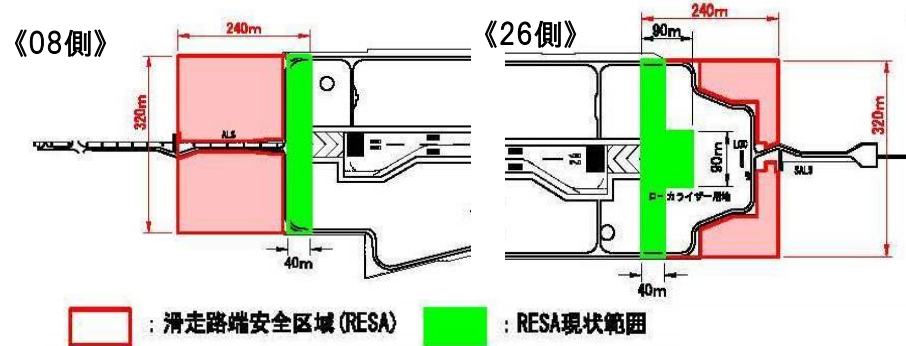
施工目地の開きと湧水跡



グルーピング溝の浅化

【滑走路端安全区域拡張】

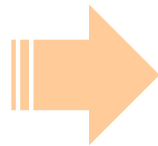
オーバーランやアンダーシュート発生時の航空機の損傷軽減による乗客の安全を確保するため、滑走路端安全区域(RESA)を整備。(R2完了)



【場周柵改良事業】

○場周柵老朽化状況

積雪荷重と老朽化により柵自体が傾斜している箇所、ネット破断、横支柱のたわみが発生といった老朽化が発生していたため、場周柵改良を実施。(R2完了)



積雪荷重に耐えられる構造、メッシュフェンス及び連続基礎構造。



完成写真4

【浸水対策】

○排水機能強化による浸水対策の整備

豪雨による空港施設の浸水を防止するため、排水機能強化による浸水対策を実施。(R4完了)



北海道マリンビジョン21の推進

北海道開発局では、北海道における全国への水産物供給基地としての役割を将来にわたり守り育てていくため、北海道水産業・漁港漁村の将来像を示した「北海道マリンビジョン21」を平成16年6月に策定され、平成25年6月には、水産業を巡る情勢等への変化への対応、第7期北海道総合開発計画に対する中間点検等も踏まえ改訂されました。宗谷管内においても、関係者が協議会を組織して「地域マリンビジョン」を策定した上で様々な取組を展開し、地域活性化に大いに寄与しています。

東浦地域マリンビジョン

～ホタテ漁業を核とした豊かな漁村定住圏の形成(稚内市)～

○地域資源・取り組み内容など



ホタテEU-HACCP加工場



稚内ブランド「宗谷のホタテ」

抜海地域マリンビジョン

～利尻富士を望む自然共生の地域づくりの推進(稚内市)～

○地域資源・取り組み内容など



ホッキ即売会



海産鍋の提供

利尻地域マリンビジョン

～水産資源・地域資源を活かした「豊かな海づくり・地域づくり」～

○地域資源・取り組み内容など



直売店



クルーズ船寄港時の直売

礼文地域マリンビジョン

～水産業と観光産業の連携による地域の活性化～

○地域資源・取り組み内容など



うめーべやフェスティバル



大阪でのPR販売

第4種漁港(東浦・抜海・礼文西・仙法志)の整備

漁港は、漁業従事者の方々の生活基盤を支えるとともに、国民に対する水産物の安定供給や近隣漁場で操業する漁船の避難場所として重要な役割を担っています。稚内開建では、水産振興の維持・発展に大きく貢献する第4種漁港の整備を進めます。

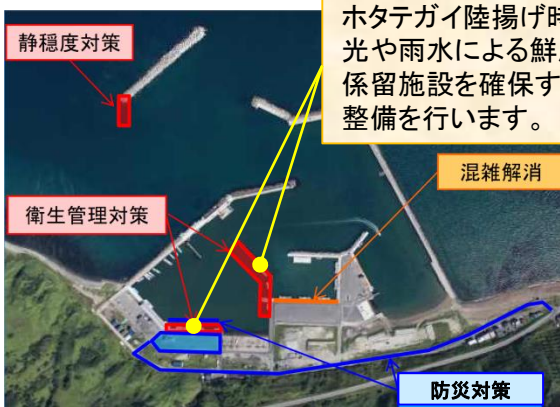
○東浦漁港

役割

- ・オホーツク海北部海域のホタテガイ底びき網漁業等の生産・流通拠点
- ・宗谷海峡で操業・航行する漁船の避難拠点

ホタテガイ陸揚げ時における異物混入・直射日光や雨水による鮮度低下防止を図り、不足する係留施設を確保するため、岸壁や屋根施設の整備を行います。

混雑解消
ホタテ陸揚げ状況



○礼文西漁港

役割

- ・周辺に武蔵堆等の好漁場を有する漁業前進基地
- ・イカ釣り等の外来漁船の避難拠点

荒天時にも安全な漁港利用を図るため、不足する港内静穏度向上のため、防波堤等を整備します。

越波状況

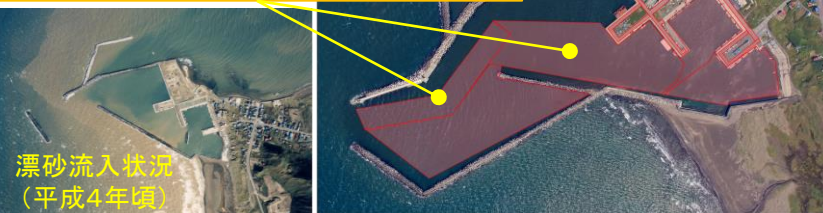


○抜海漁港

役割

- ・武蔵堆等の好漁場を有する日本海北部海域におけるサケ定置網、小型底びき網等の地域沿岸漁業の生産拠点
- ・荒天時はもとより、冬期には不凍港として流水の影響が回避可能な避難拠点

漁港施設の長寿命化を図るため、漁船の安全な出入港を確保する航路・泊地の浚渫を行います。



○仙法志漁港

役割

- ・日本有数の好漁場である武蔵堆を近傍に控え、地域沿岸漁業の生産拠点
- ・周辺海域で操業する道内外漁船の漁業前進基地及び避難拠点

漁港施設の長寿命化を図るため、老朽化対策として補修を行います。



56 老朽化状況(物揚場本体欠損)

